価値創造プロセス

PILLARグループでは、パーパスにも掲げているように、当社グループが「“社会を支える”未来を創る」ため、電子機器関連事業と産業機器関連事業という2つの事業を中心に、社会課題や当社にとってのマテリアリティを意識しながら、世の中にさまざまな価値を提供しています。

INPUT

財務資本
- 健全な財務体質

製造資本
- グループ内一貫生産体制

知的資本
- 流体制御技術
- 長年培ったノウハウ

人的資本
- グローバルで多様な人財
- プロフェッショナル人財

社会・関係資本
- 多様な分野のお客様接点
- 安定供給を実現する仕入先

自然資本
- 自然エネルギー利用促進
- 環境負荷低減を実現する製品

詳細は P12

BUSINESS MODEL

PILLARグループのパーパス

“社会を支える”未来を創る。

CLEAN / SAFETY / FRONTIER

PILLARグループの強み

- 100年磨いた素材開発力
- 素材×技術力×豊富な流体ソリューション

詳細は P11

One2025

基本方針（全社方針）

1. コア事業の進化
2. グローバル競争力の強化
3. 新規事業基盤の創造
4. サステナブル経営の発展
5. 成長を支える財務戦略

OUTPUT

One2025
2023年度達成状況
（2025年度目標）

- 売上高586億円（660億円）
- 営業利益142億円（170億円）
- ROE 16.7%（10%以上）
- 配当性向34.4%（30%以上）
- 成長投資214億円（3ヵ年累計 250億円）

詳細は P23 — P24

OUTCOME

■ 社会・環境にとっての価値
- 人々の生活にもたらす安心・安全
- 環境負荷の低減
- 世の中にある工業製品の飛躍的な発展
- 社員と地域社会に対する安全と信頼の確保
- 安定的な雇用創出
- 透明性の高い経営とわかりやすい説明
- デジタル社会の発展を支える半導体の高機能化
- 電気や水などのインフラ供給に不可欠な製品・サービス

■ PILLARにとっての価値
- 社会・環境課題の解決に貢献する特色ある製品の提供
- 新市場に対応する製品の開発・製造の実現
- 技術革新と知財戦略等に基づく顧客への付加価値提案
- 生産性の向上と低コストを実現した製品の提供
- ステークホルダーへの安定的な利益還元
- 流体制御技術とIT/DX技術の融合による先端技術へのチャレンジ
- 独創的な流体制御関連製品による顧客へのソリューション提案と製品提供
- 顧客とその市場の満足度及び企業力の向上

取り組むべき重要課題

攻めのマテリアリティ
- 脱炭素と省エネルギー
- 循環経済と省資源
- 化学物質による汚染防止と水資源保全
- 社会課題に応じた製品開発・製造

守りのマテリアリティ
- 生物多様性の保全
- 多様な人財が成長活躍できる職場の創出
- 世界・社会との共生
- 透明で責任あるガバナンスの確立

社会課題【外部環境】

地球環境保全　多様性尊重　IoT／DX化

機会

環境配慮型ビジネスの拡大
電気自動車用のバッテリーや水素、アンモニア用の高性能材料を用いたシール材、医薬、食品業界などの新市場への新製品提供

半導体分野のさらなる成長
環境保全にも貢献するようなさらなるクリーン化、省エネ型製品の提供

あらゆるものにセンサが搭載されるIoTの時代
これまで以上に高温な環境、耐薬品が強く求められるような過酷環境におけるセンシングの提供

気候変動　人権問題　労働力不足

リスク

市場規模の急拡大及び縮小
半導体・液晶市場などにおける予期しない急速な市場の拡大及び縮小に伴う技術革新、資源供給不足などにより起こる機会損失

体制の変化や規制等の強化
進出国における予期せぬ政治・経済体制の変化の他、紛争、自然災害、感染症、環境配慮等による原材料規制の強化

競合の出現、コスト変動等による国際競争力の低下
革新的な技術を持った競合の出現、製造プロセスの変化やインフラコスト増等による国際価格競争力の低下